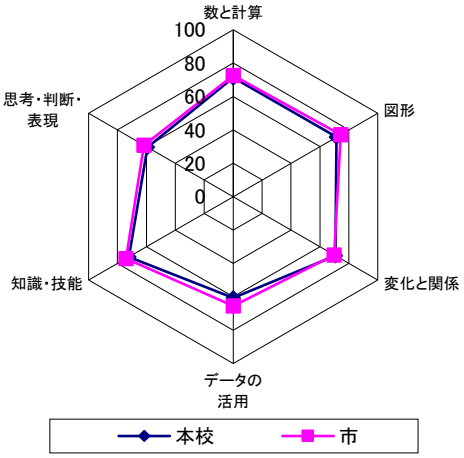
宇都宮市立桜小学校 第６学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	71.3	72.6	71.6
	図形	71.5	74.4	72.0
	変化と関係	70.8	69.8	62.6
	データの活用	60.7	65.5	59.1
観点別	知識・技能	72.1	74.1	68.9
	思考・判断・表現	59.3	61.6	63.7

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○分数×分数，分数÷分数など基本的な計算力を問う問題では，正答率が9割以上で，市の平均を上回っている。 ●分数の除法の文章問題に合った式を選ぶ設問で正答率が4割以下と市の平均を下回っている。	・練習問題などに繰り返し取り組ませ，学力をつけさせたい。 ・文章問題を表す式の意味を理解しやすいような教材の活用を増やしていきたい。
図形	○合同な三角形の作図についての設問の正答率が78.2%と高く，市の平均を上回っている。 ●正八角形の作図方法から円の中心のまわりにできる角の大きさや内角の大きさを求める設問で，正答率が25.6%と低かった。	・引き続き作図や求積方法などの理解を高めていきたい。 ・正多角形については5学年の学習内容であるため，復習問題に取り組ませ，理解の定着を図りたい。
変化と関係	○平均や時速を求める設問では，正答率が8割以上でいずれも市の平均を上回っている。 ●速さを使った記述問題では，正答率が4割程度でやや低かった。	・単位量あたりの大きさ，速さを問う問題について，様々なパターンの文章問題に取り組ませ，立式できる力を身につけさせたい。
データの活用	○度数分布表や集団のデータの平均値を求める設問では，正答率が8割を超え，市の平均を上回っている。 ●データから割合の大小と比較量の大小の関係を問う設問では，正答率が28.2%と低かった。	・割合，基準量，比較量の関係を理解する基礎問題に取り組ませ，データを正確に読み取る力を向上させたい。